

海老名秋田県人会
会報
 第21号
 令和6年
 10月29日
 発行
 会員88名
 (8/31現在)
 海老名
 秋田県人会
 046-231-0072



自然と伝統が織りなす

魅惑の風景

―祖母と私のひととき―

元会計監査 山本 准

秋田県は、祖母が産まれた場所。雄勝町だったそうですが、私はまだ一度も訪れたことがありません。でも、想像してみてください。そこには雪が舞い降りる風景、秋田犬が元氣よく走り回り、きりたんぼ鍋の香りが漂う、なんとも不思議な魅力が詰まった場所なんです。

手に「しもやけ」ができる季節になると祖母はいつも、秋田の冬の寒さについて話してくれました。「秋田の寒さはね、ただの寒さじゃねえんだよ！」と強調する祖母は、まるで寒さが秋田の特産品かのように自慢げです。私が「寒いのはちよつと」とつぶやくと、祖母はニヤリと笑い、「それが秋田のいがつたところなんだよ！」と返してくるのです。

そして、秋田美人の話になると、祖母は「雄勝町は小野小町の生まれ」とこぼす。おらもそんなの一人だったんだよ」とウインクしながら話すのが常です。もちろん、祖母が若い頃は町中が秋田美人で溢れていたのでしょう。



でも、私が「秋田美人って本当にいるの？」と聞くと、祖母は笑いながら「自分の目で見てくれ！」と言います。

秋田犬も忘れてはいけません。祖母は、「秋田犬は人懐っこくてな、おらが小さい頃はいつも一緒に遊んでんだよ」と懐かしそうに語ります。



その話を聞いてみると、まるで私もその秋田犬と雪の中で遊んでいるような気分になってしまいます。実際に秋田犬に会ったら、きつとその可愛さに心を奪われるでしょう。

そして、きりたんぼ鍋の話になると、祖母の目がキラキラと輝きます。「あの香ばしいお米のにおい、たまんねえんだよ！」と熱弁する祖母の話聞いてみると、お腹がぐうつと鳴ってしまいます。きつと寒い冬の日に、この鍋を囲んで食べると、心まで温かくなるに違いありません。

秋田には、祖母の思い出が詰まっています。まだ訪れたことがないですが、祖母の話や聞いた話、私はその場所を心の中で旅していました。いつか、祖母が見てきた風景を自分の目で確かめに行く日が楽しみです。そして美しい風景が私を待っていてくれると信じています。

秋田県人会の活動

①第13回2024年度

総会の実施

4月7日(日)海老名市立総合福祉会館で総会が開催され、会員44名と来賓2名が参加しました。事業計画では昨年6月に計画した山梨への日帰りバス旅行の「さくらんぼ狩り」に39名参加しました。報告されました。しかし、昨年10月に予定されていた「なべっこ遠足(きりたんぼ鍋)」は、天候不良が予報されたため中止となったことも報告されました。

2年続けて「なべっこ遠足」ができなかったことは悔やまれます。今年のきりたんぼ鍋は是非食べたものです。



秋田県の話題

県内各地で大雨被害

7月24日から25日にかけて、前線の影響により秋田県と山形県を中心に記録的な大雨となり、総雨量は多いところで500ミリを超過。多くの雨量観測所で観測史上1位や、7月の平年値を上回る雨量を記録するとともに、秋田県では記録的短時間大雨情報が計5回発表された。

【9河川が氾濫】今回の大雨で県内では9つの河川で氾濫が発生。このうち、由利本荘市を流れる子吉川と支流の石沢川では、それぞれ数十メートルにわたって堤防が決壊。さらに、由利本荘市を流れる西目川、大仙市を流れる上総川と小友川、三種町を流れる三種川、五城目町を流れる内川川、上小阿仁村を流れる五反沢川と仏社川でも氾濫が発生した。

【農業被害】

これまでに水田や大豆畑などあわせて1108ヘクタールの農地が水に浸かったことが確認された。農業用の水路に土砂が入り込むなどの被害が15か所で確認された。

